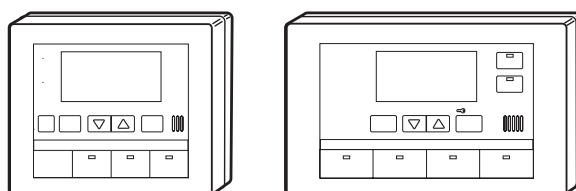


工事説明書

ヒートポンプ給湯機用リモコン

コミュニケーション リモコン (台所リモコン+浴室リモコン)	ボイス リモコン (台所リモコン+浴室リモコン)	増設リモコン
HE-RQFBW HE-RSFBW HE-RXFBW	HE-RQVBW HE-RSVBW HE-RXVBW	HE-RQVBZ



* 工事される方へのお願い

この工事説明書は、工事作業者が正しく、安全な工事をするために必要な手引書です。工事開始前に必ずお読みください。

本書の設置条件を外れた設置が原因で生じた事故・故障などは、保証の対象になりませんので、ご注意ください。

設置工事後、この工事説明書は取扱説明書と一緒に、お客様にお渡しください。

もくじ

	ページ
安全上のご注意	2
同梱部品	2
施工上のお願い	3
台所・増設リモコン工事	4
浴室リモコン工事	6
ヒートポンプ給湯機との接続	10
HAシステムの接続	11
工事完了後の確認	11

安全上のご注意

必ずお守りください

- 人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 注意 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

! 実行しなければならない内容です。

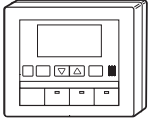
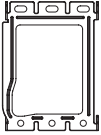





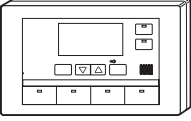



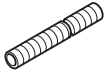





⚠ 注意

工事は、配線用しゃ断器、貯湯ユニットの漏電しゃ断器を「切」にしてから行う



感電の原因となります。

同梱部品

コミュニケーションリモコン/ボイスリモコン	台所リモコン 	 リモコン取付板(※)	 プラグ	 なべ木ネジ		
		 下固定板(ネジ付き)(※) (※)台所リモコンに固定されています	 なべ小ネジ	 Y端子		
	浴室リモコン 	 プラグ	 なべ木ネジ	 平座金	 空気抜きパイプ	 パッキン
		 化粧カバー	 ナット	 チューブ	 ケツソクバンド	
増設リモコン		●台所リモコンと同じ部品を同梱しています				

施工上のお願い

■次の基準、規定に従って設置してください。

- 電気設備技術基準
- 内線規定

■パイプシャフト内に機器の電気配線、リモコン用配線を行う場合には電気設備技術基準に準じた防爆工事を行ってください。

■メタルラス張りなどの壁を貫通する場合は、メタルラスと金属電線管が電氣的に接続しないようにしてください。

■コードは当社別売品の「リモコンコード」を使用してください。

■電磁波の強い場所(送信所から半径5 km以内など)では必ずシールド付リモコンコードを使用してください。

■壁に穴をあけるときの、大きくあけすぎると固定できなくなるので、注意してください。

■壁に貫通穴をあけるときは、壁内部にある柱・鉄筋の位置を確認して、取付位置を決めてください。

■リモコンコードの延長がそれぞれ25 m以内になるように配線工事を行ってください。

■リモコンコードは、リモコンの接続部に外力が加えられないように壁面に固定してください。

(リモコンコード露出配線の場合)

■リモコンコードは直接熱の影響を受けないところに配線してください。

■リモコンコードをコンクリートなどに埋め込む場合には、電線管などに収め、コードに傷がつかないようにしてください。

■リモコンから貯湯ユニットまでの配線は、リモコンケーブルと電源電線を5 cm以上離してください。電線管などに通す場合は同じ電線管内に通さないでください。

■設置工事で発生した鉄粉が、リモコン内蔵のスピーカーに付着すると、スピーカーの音が出なくなるおそれがあります。リモコン内部に鉄粉や異物が入らないようにしてください。

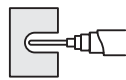
■リモコンのネジ止めには、電気ドライバー、インパクトドライバー等は使用しないでください。破損や変形のおそれがあります。

■リモコン取付工事に必要のないネジは絶対に締め付けたり、ゆるめたりしないでください。

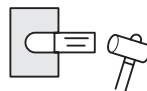
■工事完了後の確認の際、爪などのとがったもの、硬いもの、ボールペンのような跡の残るものでスイッチの操作をしないでください。スイッチの破損や故障の原因になることがあります。

■タイル、コンクリート、モルタルなどの壁のときは、プラグを壁に打ち込み、木ネジで取り付けてください。

下穴をあける
(穴径 ϕ 6.5 mm
深さ約20 mm)



プラグを
打ち込む



余分を切断
する



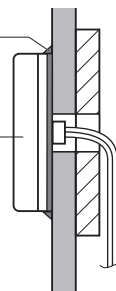
木ネジで
取り付ける



■浴室リモコン取り付け後は、全周にシリコンシーラントを塗布してください。シリコンシーラント塗布が不十分ですと、水や蒸気が浸入して、故障するおそれがあります。

シリコンシーラント
(全周)

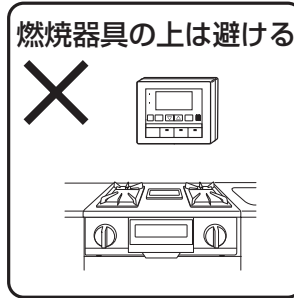
浴室リモコン



台所・増設リモコン工事

取り付け場所を選定する

- お客様と相談して使いやすい場所を選んでください。
- ガステーブルなど燃焼器具の上以外の場所を選んでください。
- 直射日光・水しぶき・蒸気・水滴がかからない場所を選んでください。
- 浴室リモコンと同一の壁をはさんで表と裏に取り付けしないでください。



リモコンコード露出配線の場合

1. 壁に穴をあける

- プラグを使用する場合は、プラグ用の穴をあけて打ち込んでください。
(3ページ)

2. 下固定板の取り付けネジをゆるめ、下固定板を外し、その後、リモコン取付板を外す

3. リモコン取付板を固定する

- リモコン取付板の「上」「下」刻印を確認してください。
- 必ず同梱のなべ木ネジを使用してください。
- リモコン取付板が壁の仕上げ面と同一面となるように固定してください。
- 壁の化粧クロスが厚い場合、リモコンが乗り上げて、取り付けできなくなることがあります。
(リモコン取付板が仕上げ面より深く沈み込む程、ネジを強く締め付けしないでください)

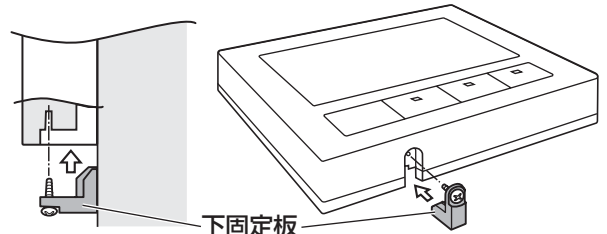
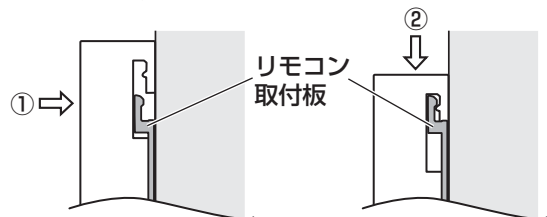
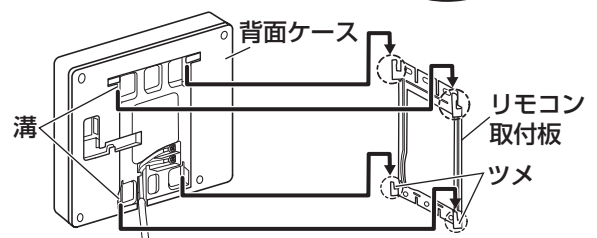
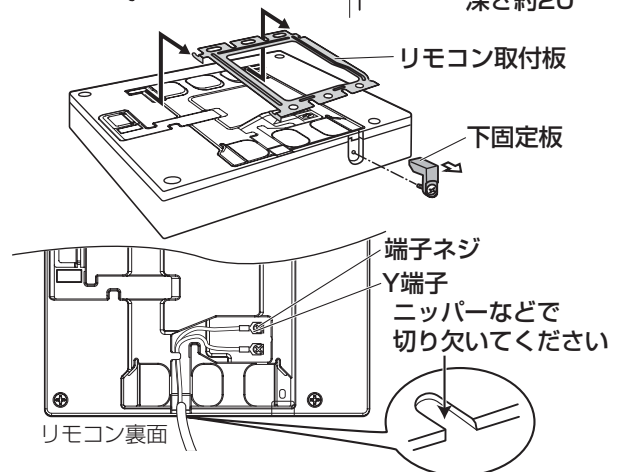
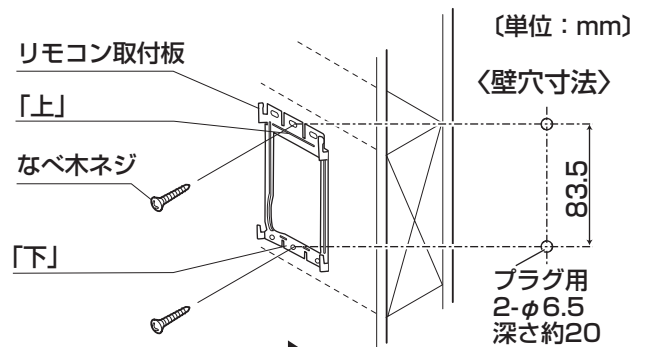
4. リモコンコードを接続する

- 同梱のY端子をリモコンコードに圧着して右図のように接続してください。
- リモコンコードは無極性ですので、+-はありません。

5. リモコンをリモコン取付板に取り付ける

- ① リモコンをリモコン取付板に押し当てる。
- ② 下方に押し下げる。

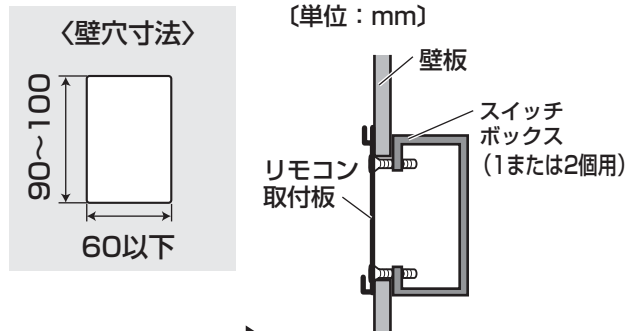
6. 下固定板（ネジ付き）をリモコン下面より取り付けて固定する



リモコンコード埋込配線の場合

1. 壁に穴をあける

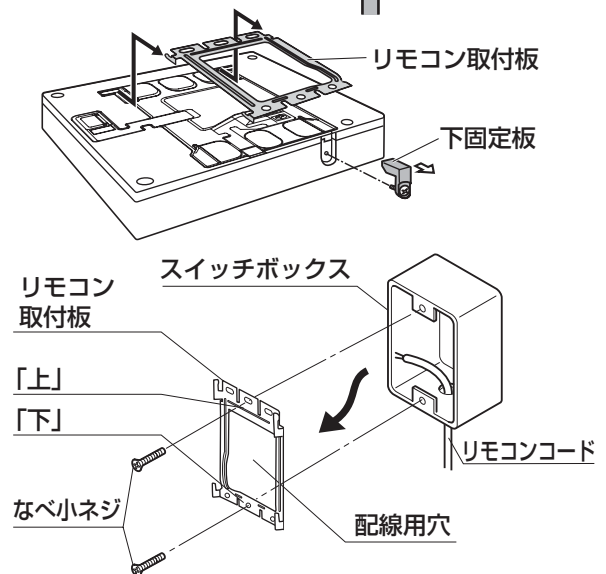
壁にあける穴の大きさに注意してください。
右図寸法より大きくあけるとリモコン取付板が
穴に落ち込みリモコンが取り付けできなくな
ります。



2. 下固定板の取り付けネジをゆるめ、下固定板を外し、その後、リモコン取付板を外す

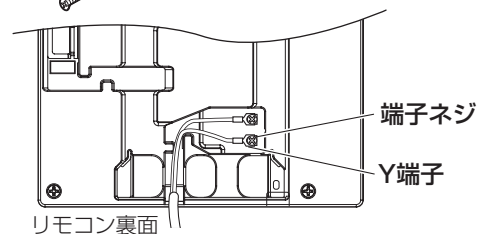
3. リモコン取付板をスイッチボックスに固定する

- リモコン取付板をスイッチボックスに取り付け、同梱のなべ小ネジで固定します。(リモコン取付板の「上」「下」刻印を確認)
- 右図は1個用スイッチボックスの例です。



4. リモコンコードを接続する

- 同梱のY端子をリモコンコードに圧着して右図のように接続してください。
- リモコンコードは無極性ですので、+-はありません。

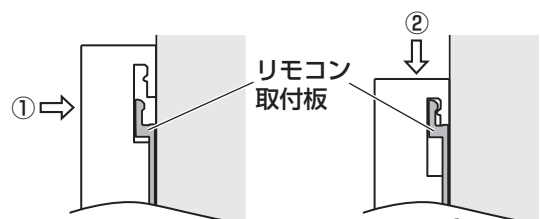
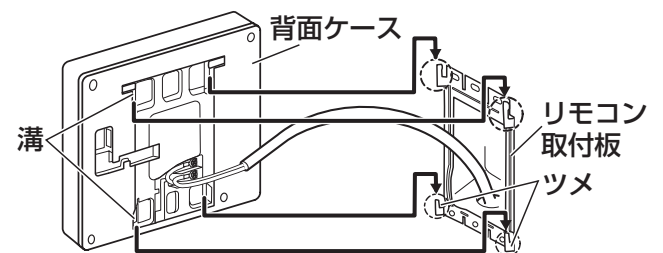


5. リモコンをリモコン取付板に取り付ける

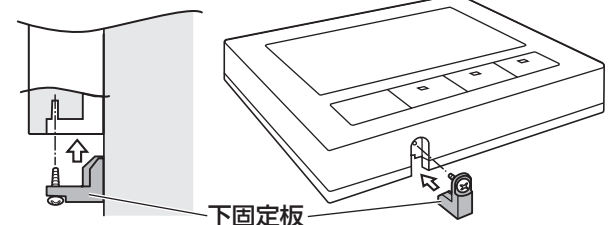
- ① リモコンをリモコン取付板に押し当てる。
- ② 下方に押し下げる。
余ったリモコンコードは、壁穴に押し込んでください。この時、端子部に力が加わらないように注意してください。

【お願い】

- リモコンコードが金属エッジに触れて損傷するおそれがある場合は、ビニールテープなどで保護してください。



6. 下固定板 (ネジ付き) をリモコン下面より取り付けて固定する

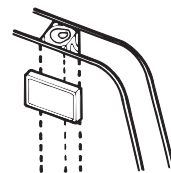


浴室リモコン工事

取り付け場所を選定する

- お客様と相談して使いやすい場所を選んでください。
- 貫通穴は壁の内部にある柱や鉄筋がない場所を選んでください。
(リモコンコードが接続できなくなります)
- リモコンに温水・水が直接かかりにくい場所を選んでください。
(リモコンに水が入ると故障の原因となります)
- 段差のない場所を選んでください。

鉄筋や柱が壁の中を
通っているところ
は避ける



温水・水が直接かか
るところは避ける

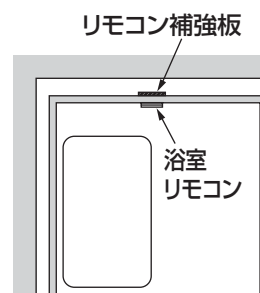


ユニットバスへの取り付け

(単位: mm)

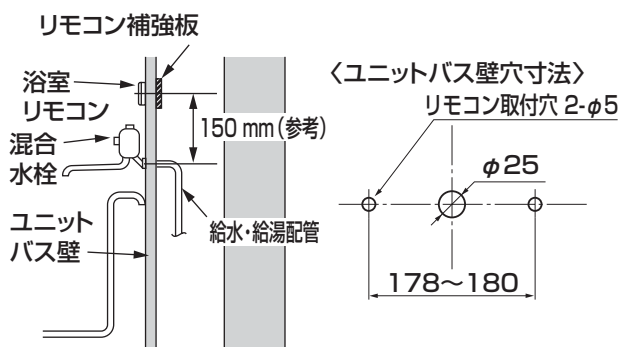
1. リモコン補強板をはる

- ユニットバスの搬入の前にリモコン補強板（木片など）をユニットバスの裏側に接着剤などで取り付けてください。
(リモコン補強板は現地調達してください)



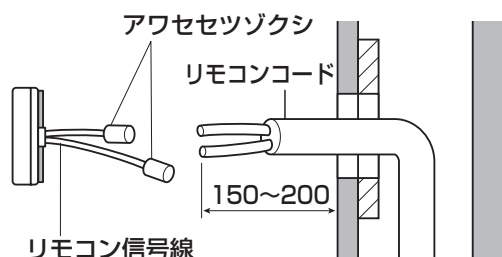
2. ユニットバスとリモコン補強板の穴あけ

- ユニットバスとリモコン補強板同心で、リモコンコードを通すためのφ25の貫通穴をあけてください。(混合水栓の上、約150 mm)
- リモコン取付穴をあけてください。リモコン取付穴はユニットバス壁を貫通し、リモコン補強板を貫通しないように注意してあけてください。



3. リモコン信号線を引き出す

- ユニットバスを設置するとき、リモコンコードを穴から150~200 mm引き出してください。

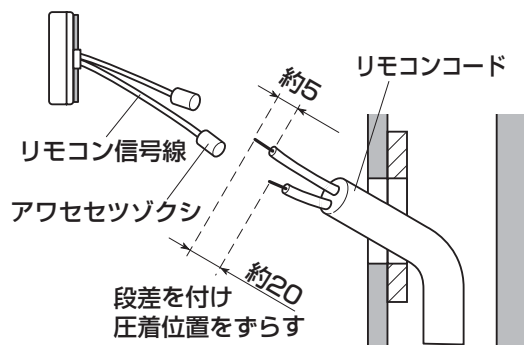


4. 浴室リモコンとリモコンコードを接続する

- リモコンコードの被覆を約5 mmはがし、浴室リモコン側のリモコン信号線先端のアワセセツゾクシに差し込み、圧着して接続してください。

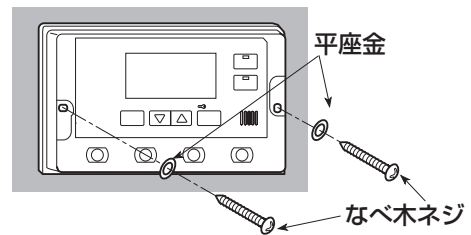
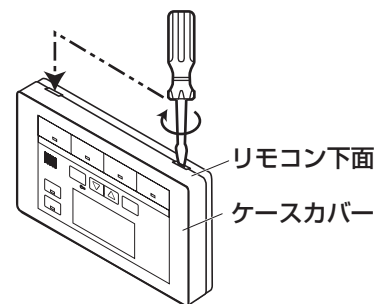
〔お願い〕

- リモコン信号線やリモコンコードが金属エッジ部などに触れるおそれがある場合は、ビニールテープなどで保護してください。



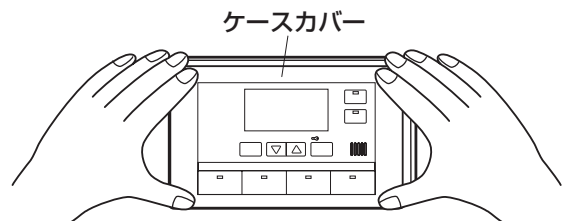
5. 浴室リモコンを壁に固定する

- ① 取り付けの壁面の水気、油分を乾いた布などでふき取ってください。
- ② ケースカバーを取り外してください。
※ ⊖ドライバーを図のように使用するとケースカバーの取り外しができます。
- ③ 裏面のパッキンの剥離紙（セパレーター）をはがして壁面に水平に貼り付けてください。（仮固定）
- ④ 同梱のなべ木ネジと平座金で浴室リモコンをユニットバス壁面に固定してください。



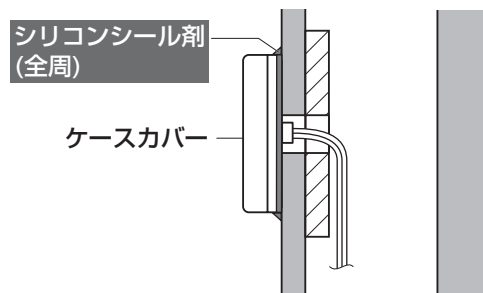
6. ケースカバーを取り付ける

- ケースカバーの四隅をパチンと音がするまで押し込んでください。
- ※ ケースカバーがういていると、スイッチが入らないことや、入りにくいことがあります。



7. シリコンシール剤を塗布する

- 浴室リモコン全周にシリコンシール剤を塗布してください。シリコンシール剤塗布が不十分ですと、水や蒸気が浸入して、故障するおそれがあります。



浴室リモコン工事 (つづき)

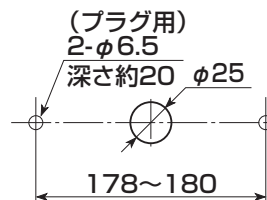
一般浴室への取り付け

1. 壁に貫通穴をあける

〔単位：mm〕

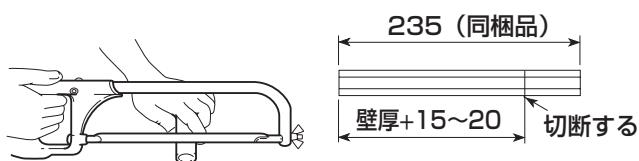
- $\phi 25$ の貫通穴を壁に対して直角にあけてください。
- 貫通穴を大きく ($\phi 30$ 以上) あけると浴室リモコンの固定ができなくなります。
- プラグを使用する場合は、プラグ用の穴をあけてプラグを打ち込んでください。
(3ページ)

〈壁穴寸法〉



2. 空気抜きパイプを切断する

- 壁厚プラス (15~20 mm) の長さで切断してください。
- 壁厚が220~335 mmの場合は、別売品の厚壁用空気抜きパイプ (品番：AD-3722-1) を使用してください。
- 壁厚が70 mm以下の場合は、壁と化粧カバーの間にスペーサー等を入れてください。

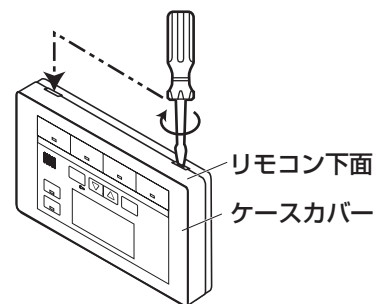
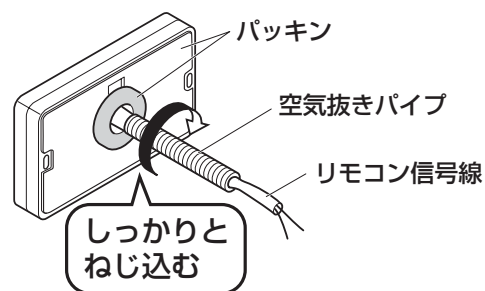


3. 浴室リモコンに空気抜きパイプを接続する

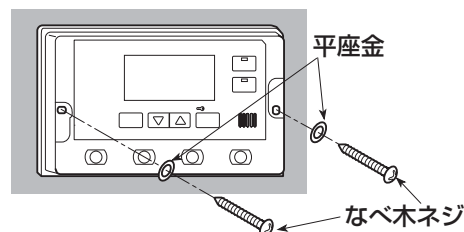
- 空気抜きパイプにリモコン信号線を通して、ねじ込んでください。

4. 浴室リモコンを壁に固定する

- ① 取り付ける壁面の水気、油分を乾いた布などでふき取ってください。
 - ② ケースカバーを取り外し、ネジ穴と取り付け穴の位置が合っていることを確認します。
- ※ ⊖ドライバーを図のように使用するとケースカバーの取り外しができます。

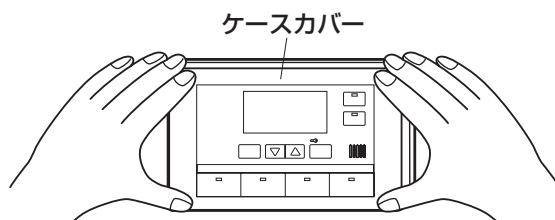


- ③ 裏面の外周パッキンの剥離紙 (セパレーター) をはがし壁面に水平に貼り付けてください。
(仮固定)
- ④ 同梱のなべ木ネジと平座金で浴室リモコンを壁面に固定してください。



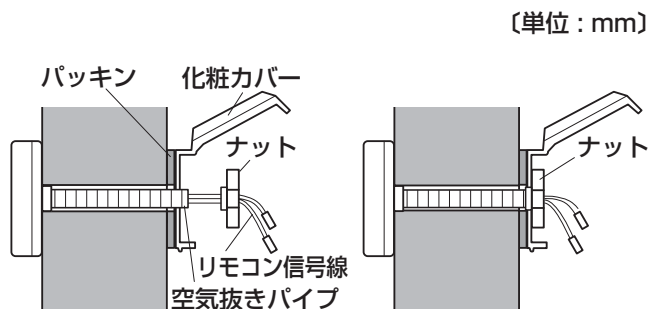
5. ケースカバーを取り付ける

- ケースカバーの四隅をパチンと音がするまで押し込んでください。
- ※ ケースカバーがういていないと、スイッチが入らないことや、入りにくいことがあります。



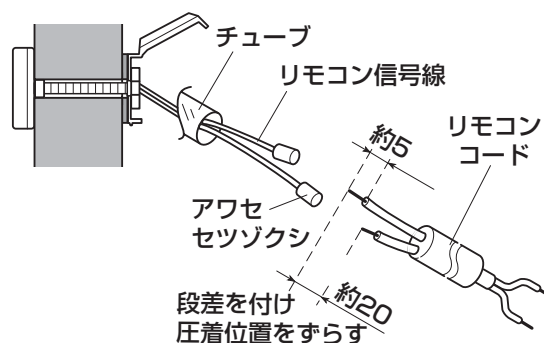
6. 化粧カバーを取り付ける

- 化粧カバーの取り付け面にあらかじめパッキンを貼り付けてください。
- 空気抜きパイプを化粧カバーの穴に通して同梱のナットをねじ込んで固定してください。



7. リモコンコードとリモコン信号線を接続する

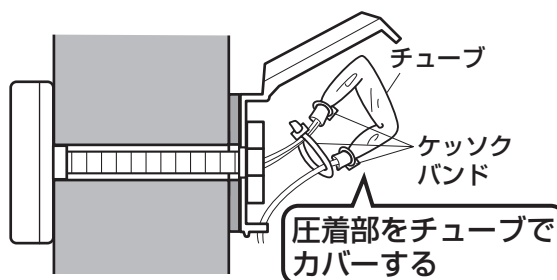
- ① リモコン信号線2本をチューブに入れてから、リモコンコードの先端をアワセセツゾクシに差し込み、圧着して接続してください。



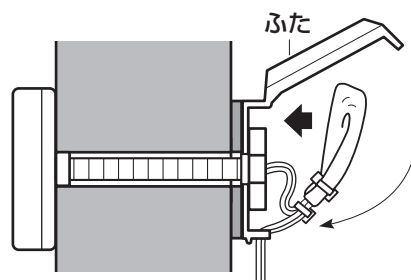
- ② チューブで圧着部を覆い、ケツクバンドで結束します。(3か所)

〔お願い〕

- リモコン信号線やリモコンコードが金属エッジ部などに触れるおそれがある場合は、ビニールテープなどで保護してください。

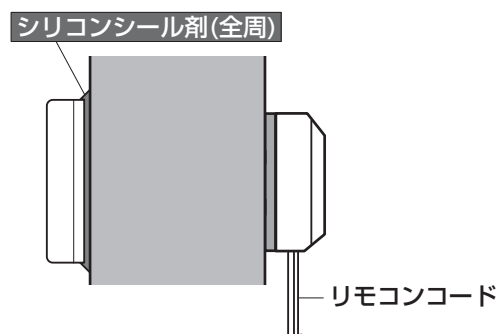


8. 化粧カバーのふたをする

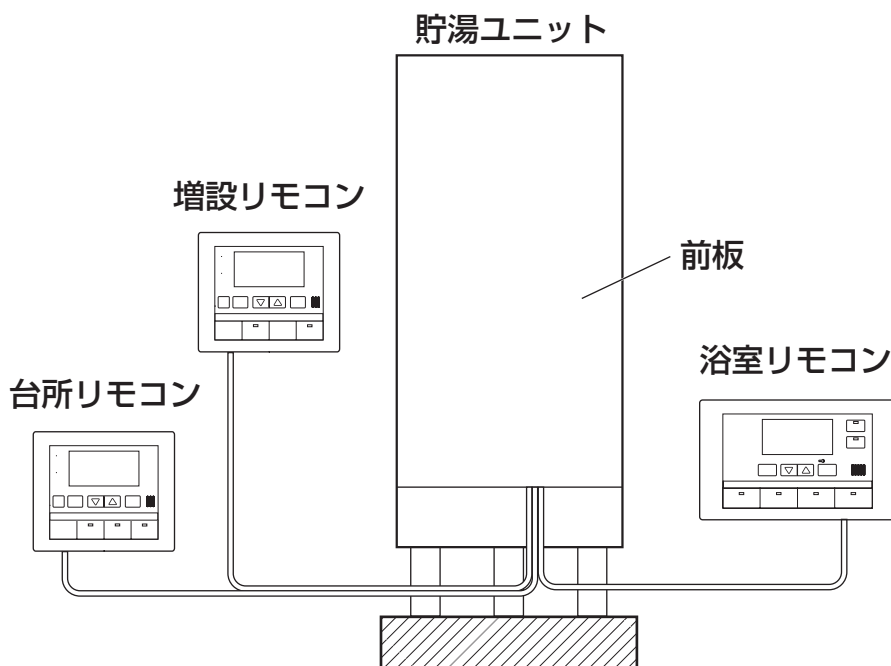


9. シリコンシール剤を塗布する

- 浴室リモコン全周にシリコンシール剤を塗布してください。シリコンシール剤塗布が不十分ですと、水や蒸気が浸入して、故障するおそれがあります。



ヒートポンプ給湯機との接続

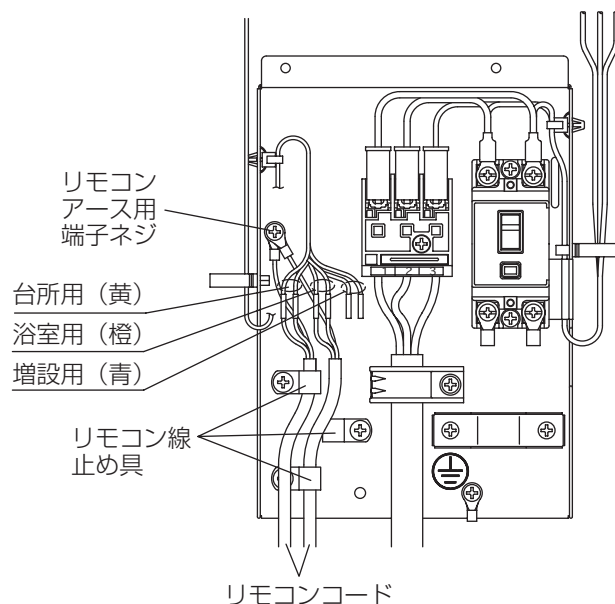


■ リモコンコードの接続

- ①前板の取り付けネジをゆるめ、前板を外してください。
- ②台所リモコン、浴室リモコンおよび増設リモコンのリモコンコードを圧着接続してください。
 - ・シールド付リモコンコードを使用してください。
 - ・接続するリード線の色を必ず確認してから接続してください。
- ③リモコンコードのシールド線をリモコンアース用端子ネジに固定してください。
- ④リモコンコードを、リモコン線止め具で固定してください。
- ⑤貯湯ユニット側の電気工事・リモコン工事終了後、リモコンコードがかみ込まないように注意して、前板を取り付けネジで固定してください。

ヒートポンプ給湯機の機種により接続位置やリモコン線止め具の位置が異なります。
ヒートポンプ給湯機同梱の工事説明書に従い正しく接続してください。

リモコンコード(2心)の接続例



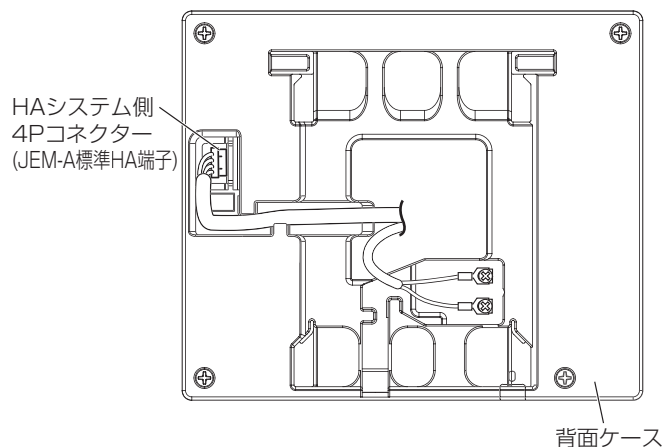
HAシステムの接続

JEM-A標準HA対応機器へ接続する場合

- 台所リモコンの背面ケースのHA端子カバーを切り取ってHAシステム側4Pコネクタを接続してください。

※詳しくはHAシステムの説明書をよくお読みのうえ、正しく接続してください。

※リモコンコードは埋込配線にしてください。



工事完了後の確認

- (1) リモコンは確実に固定されていますか。
- (2) 表面の保護シートは、はがされていますか。
- (3) リモコンの動作確認

貯湯ユニットの漏電ブレーカーを入れた直後はスイッチ操作を受け付けない場合があります。電源を入れてから5秒以上待ってスイッチ操作をしてください。

一度も試運転をしていない場合は、「試運転ナビ」の表示となります。

- (4) コミュニケーションリモコンの通話確認

コミュニケーションリモコンの通話確認をする場合は、浴室の扉、窓を閉めてください。

浴室の扉、窓を開けたまま通話確認すると、ハウリングする場合があります。

浴室の扉、窓を閉めても、ハウリングする場合は、台所リモコンを浴室リモコンから離れた場所に設置しなおしてください。台所リモコンを離れた場所に設置できない場合は、通話音量を小さくしてください。

パナソニック電工株式会社
製造元 パナソニック株式会社 エアコンビジネスユニット

〒525-8520 滋賀県草津市野路東2丁目3番1-1号

© Panasonic Corporation 2008

UR83MN0531AA
P0408A1078